

降誕節第四主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏 (黙禱)
「あかつきの空の美しい星」
(讃美歌 21 の 276 番)

H.ボルネフェスト作曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/18 番
開会の祈り
交読詩篇 詩編 102 篇 16~23 節

【み言葉の礼拝】

聖 書
✦創世記 3 章 1~7 節
✦ルカによる福音書 4 章 1~13 節
(旧約 P.3、新約 P.107)

応 答 唱 讃美歌 21/38 番
教 話 井上隆晶牧師
『三つの誘惑』

使徒信条

【聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/81 番
教会の祈り (連禱)
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/455 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉 井上隆晶牧師
祝福の祈り
後 奏 (黙禱)
「主の民われらは」(讃美歌 543 番・頌栄)
日本聖公会聖歌アレンジ集より

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 寺田律子
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 松本貴子
受付当番 畑耕太郎

【本日の予定】

◇教会学校 (朝 9 時 30 分)
・お話し: 小坪英恵
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)

【今週の教会での集会のご案内】

◇朝の祈り
・1月21日(火) 午前8時30分
・1月24日(金) 午前9時
◇英会話グループ
・お休みです。

【次週主日 1月26日のご案内】

◇教会学校礼拝 (午前9時30分)
・お話し: 黒澤 巖
◇主日朝礼拝 (午前10時30分)
・聖 書
✦レビ記 25 章 10~12 節
✦ルカ福音書 4 章 14~30 節
(旧約 P.202、新約 P.107)
・教 話 井上隆晶牧師
『主の恵みの年』
・讃美歌 21 287、38、431
・交読詩篇 詩編 103 : 1~13
・司式補佐 澤田昌人
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 エリザベス・P
・受付当番 菱田朱美
◇讃美歌練習 (礼拝後)
◇合同祈禱会 (礼拝後)

聖 句

「荒れ野の中を 霊」によって引き回され、
四十日間、悪魔から誘惑を受けられた。」

(ルカ 4 章 1 ~ 2 節)

【諸報告・個人消息】

- ①《今週の井上牧師の予定》: 20 日(月) 午後 1 時 30 分「大宮保育園昼礼拝」、21 日(火) 午前 10 時「心の病の勉強会」、23 日(木) 午後 6 時 30 分「一致祈禱会」、24 日(金) 午後 2 時 30 分「シャロン千里職員面談」
- ②《1 月の行事のお知らせ》
■1月19日(日) 午後2時「心なごむ会公開講演会」(大阪福島教会) 参加費 300 円
■1月21日(火) 午前10時「心の病の勉強会」
■1月23日(木) 午後6時30分「一致祈禱会」(カトリック玉造大聖堂)
- ③先週の礼拝に徳井優美子さんが久しぶりに参拝されました。感謝です。
- ④17 日に聖水を作りました。小瓶 50 円、大瓶 300 円で販売いたします。代金は受付台の缶に入れて下さい。
- ⑤【祈禱課題】
●宗教法人を取り、広い礼拝堂を建築するため。
●都島教会が宣教する教会になるため。
- ⑥【先週の集会統計】

| 日 | 集会 | 男 | 女 | 大人 | 計 | 礼拝献金 |
|----|------|---|----|-----|----|---------|
| 12 | CS礼拝 | - | 1 | 5 | 6 | ¥1,155 |
| | 集会 | 男 | 女 | 子ども | 計 | 礼拝献金 |
| 12 | 朝の礼拝 | 7 | 17 | 4 | 28 | ¥16,700 |
| 14 | 朝の祈り | 3 | 3 | - | 6 | |
| 17 | 朝の祈り | 2 | 3 | - | 5 | |

⑦【1/12 の献金報告】

[月定] 相澤美子、澤田真弓 (計 14,500 円) [感謝] 相澤美子、山千代誠子、上田信子 (計 11,000 円) [謝恩日] 飯田雅子、井上万里子、小淵公子、小淵賀裕、鹿野幸枝、寺田律子、畑耕太郎 (計 6,500 円) [互助] 澤田真弓 (計 1,000 円) ↓ [建築] 澤田真弓 (計 5,000 円)



【先週の説教要旨の続き】

す。イエス様は洗礼を受ける必要がないのに、あえて洗礼を受けたのは、ご自分の為ではなく私たちの為でした。衣服の汚れは水と触れ合うことによって、水の中に転嫁します。同じように、罪なき神の子キリストと私たちが一体になることによって、私の罪は彼に転嫁されるのです。だから彼は私たち人間と共に洗礼を受ける必要があったのです。洗礼式と言うのはキリストと一体となる式であり結婚式といってもいいでしょう。ヨハネは自分がしている「水による悔い改めの洗礼」(3:11)とは違う、新しい「聖霊と火の洗礼」(3:11)が始まるといいました。洗礼はもともとユダヤ教の入信の儀式でしたが、イエス様はそれをご自分が体験されることにより新しいものに変えられたのです。すなわち、水によって古い人を葬り去り、同時に聖霊と火(言葉)によって新しい人を創造する儀式へと変えられたのです。エルサレムのキュリロスは 348 年に聖墳墓教会で、洗礼志願者にこう説教しました。「三回水に浸かり、また水から上がりましたが、それでキリストの三日間の埋葬を暗に象徴していたのです。…あの救いの水はあなたがたにとって墓であり母の胎でもあったのです。」三度水を頭にかけることはキリストの三日間の葬りを象り、水から上がることは復活を象っています。洗礼により、古い自分が水の中に葬られ、同時にキリストに結ばれた新しい人が、古い人の中に産まれるのです。パウロも「大切なのは新しく創造されることです。」(ガラテヤ 6:15) といいました。ルーシーちゃんの洗礼を見て、皆さんも自分の中にキリストに結ばれた新しい神秘体があることを思い出してください。子どもの洗礼は何と謙虚でしょう。子どもはされるままです。受け身です。これこそ人の本来の姿です。今、ルーシーはキリストと一体になり、水の中に葬られ、キリストと一体の新しい命が彼女の中に産まれるのです。水と聖霊による死と再生の神秘に感謝しましょう。